

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2022	3	B	20121028	佐藤大樹

レポートは極力 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API 連携について、実用的な API とその活用について調査すること。

評価ポイント

選択した API の連携にどのような事例があり

具体的な実装方法について調べ

自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか << 天気予報に使えると思うなどは NG。具体的に考えよう。

API 連携の活用事例について Google で色々なウェブサイトを見て回ったところ一番多かった活用事例に、SNS や

Google アカウントや Apple ID によるログイン機能 API である。これにより、新規の人は、新規会員登録が非常に楽に

なる。なぜなら、一つの SNS のアカウントを所持していれば、ID やパスワードの管理が面倒になることはなく、そのアカウント

だけで登録が完結させることができる。そこで、ユーザーにとって手間のかかる新規登録のハードルが下がるので、顧客獲得を

目指しやすい。

Google が提供している Firebase というサービスを利用することで SNS 連携を実装することができる。Firebase の機

能には Realtime Database、Firebase Authentication、Google Cloud Functions for Firebase、Firebase

Cloud Messaging (FCM) 等があげられる。今回の課題のテーマに掲げた SNS 連携については、Firebase

Authentication を活用することになる。この機能は、Google のフェデレーション認証というもので、Google アカウントは勿

論のこと Facebook、Twitter、GitHub 等のアカウントでのログインを可能に出来る。また、これら以外にもパスワード認証

や電話番号での認証にも対応している。

私がこの API を活用するならば、SNS でよく目にかけるハッシュタグで面白いことができればいいなと考える。

それぞれの SNS でハッシュタグが使用される場面がよくある。それを利用し、Twitter、インスタグラム、や YouTube 等でハ

ッシュタグ連携を試みたいと思う。SNS のプラットフォームは、たくさん存在しているが、それぞれ使い方や仕様、雰囲気が違

う。Twitter だったら、文字を使って文章で発信する。インスタグラムなら写真や画像を用いる。YouTube なら動画を主と

している。個人の趣味等ハッシュタグをお気に入りに登録するなり、フォローをしたところを連携し、各プラットフォームの得意とする発信方法を用いて、多方面から趣味や知りたい情報を獲得することに近づけるのではないかと考えに至った。

API は様々な事業や取り組みにも生かされており、API がこの先発展することにより今ない取り組みなどができるのではないか。API 連携を上手く活用することで、企業は業務効率化や顧客満足度の向上を期待できる。API 連携には数多くのメリットがあり、自社のサービスや製品で API 連携を活用することを検討することが必要となってくる。